

第2回 栗東市地域福祉計画委員会 要点録

(2022年11月29日(火)開催)

開会

事務局

定刻より早いですが、皆様おそろいになりましたので、第2回栗東市地域福祉計画委員会を開催します。開催に当たりまして、市民憲章を唱和します。

(市民憲章唱和)

事務局

健康福祉課長よりご挨拶申し上げます。

(挨拶)

事務局

本日の委員会につきましては、19名の委員のうち14名の委員が出席しており、本委員会が成立していることを報告します。

また、本委員会の傍聴を希望する人が1名いることを報告します。

(1) 第4期栗東市地域福祉計画(案)

事務局

(資料に沿って説明)

委員長

ただいまの事務局より計画案の説明がありました。内容がたくさんありますので、区切ってご意見をいただければと思います。

第3期計画策定以降の制度変遷や社会動向を踏まえますと、ヤングケアラー等の課題や更生、権利擁護について地域福祉計画で検討していく必要があると思います。

地域福祉計画に期待される役割が大きくなっておりませんが、この辺りについていかがでしょうか。

委員

生活保護を受けている人で、身体の弱い人がいると聞いていました。その人のところへ家庭訪問に行けないまま、ある日救急や消防がその人の家に来るといった事態がありました。

地域のなかには孤独死という問題もありますので、もっと地域のことを知らなければならぬと思います。社会福祉課の方と民生委員、自治会長での話し合いを続け、地域を把握することが大事です。地域福祉計画はそのことを教えてくれていると思います。

私も役がないと地域に出ていかなかったと思います。引っ込んでいる人にどう参画さしてもらうかが重要です。

地域福祉について、東近江の事例を見ました。もっと小さな単位で福祉を進めていく必要もあると思います。地域の世話をしたいと思う人がいるので、そういった人をどうやって引っ張り出すか考えなければなりません。忙しいと思いますが、もう少し地域に目を配ってほしいです。

委員長

東近江市は学区ごとに地域福祉計画をつくっており、参考になると思います。事務局で孤独死等、計画に反映しなければならないという実態を把握していましたら、報告をお願いします。

事務局

孤独死等が課題だと感じています。生活保護を受けているかどうかに関わらず、隣近所で困っている人の声なき声はどう気づくかということが課題です。地域で気づき、相談を受け止めることが重要だと考えています。

基本目標を第3期から深め、つながりとささえあいを掲げています。支援を受ける人、支援する人と区分するのではなく、お互いさまの心でまちづくりを進めていきたいと考えています。

委員長

包括的な支援体制が重点プログラムの1つにも掲げられています。社会福祉協議会の地域福祉活動計画とも連携しながら地域福祉を推進してほしいです。

委員

地域福祉では民生委員がますます大事になっていると思います。実際のところ、いかがですか。活動で感じるなどありましたら、お聞きしたいです。

委員

地域によって自治会の組織が全然違って、自治会も地域の情報を把握できていないところや、入り込めないところもあります。自治会組織は存在しているため、市がうまく使えば、民生委員だけではなく、隣近所で支えあいができると思います。

委員

都会では自治会加入率が低くなっているところもある中で、栗東市は9割以上が加入している状況です。この加入率を保ち、地域の力を強くしてほしいと思います。

委員

生活保護の受給率はどれくらいでしょうか。

委員長

新型コロナウイルス感染症の影響で生活保護の受給率が増加しているのでしょうか。

事務局

新型コロナウイルス感染症はあまり影響せず、生活保護の受給率は横ばいで推移しているという印象です。

委員長

給付金の活用等もあると聞いています。低所得者世帯の地域からの孤立はこれからも課題だと思います。

また、高齢化は全国共通の問題です。医療の進歩に伴い、寿命が伸びてきた一方で、それが問題となっている

るのはさみしいと学生と話しています。高齢になっても、サポートを受けたり、地域や様々な活動等に参加できたりするということが可能なまちのあり方を考えるのが地域福祉だと思います。

第3期から基本目標が変わっていますよね。

事務局

「人と人がつながる共生のまちづくり」という前回の目標から発展し、「つながり支えあい 誰もが安心して暮らせるまちづくり」としています。

委員長

基本目標の変更は大きなテーマだと思います。特に意見がなければ、この目標で良いと思います。重点プログラムについてもご意見があればいただきたいです。

委員

支援を必要とする個人だけの問題でなく、その人を切り口に家庭までみることで、たくさん問題がみえてくると感じています。つながりはまだまだ十分ではないという状況です。

縦割りを乗り越えるということで職員の負担が大きいと思います。体制を更新したりする予定はあるのでしょうか。

事務局

計画を通じて、重層的な支援体制整備事業を進めていこうと思っています。支援をされている方を支援する仕組みづくりが含まれています。支援をする人が一人で抱え込むことのない体制をつくっていきたいと思っています。

委員長

第3期計画ではコミュニティソーシャルワーカーの配置が大きな柱でした。そこからさらに重層的な体制が求められる中で職員の研修や支援をする仕組みを積極的につくっていくことが重要だと思いますので、計画で記載してほしいです。

委員

栗東市は良いところだと思います。鍵を閉めなくても良いと感じるくらい安心できるまちだと感じました。高齢者が必ずしも負担ということではないと思います。老人クラブの活動を通じて、人生100年と言われるなかで高齢者が役割を持つことができていると感じています。

栗東市の民生委員が親切です。親の葬儀の際も、民生委員のおかげで安心できました。

安心できると生活が楽しいと思います。安心できて、誰かに相談できることが大切です。何かの活動に参加している人は、相談できると思います。老人会に入っている人や民生委員は家庭に入っていって話ができます。そのような形を広げていくことができれば、良い地域づくりになると思います。

委員長

安心は地域福祉計画のキーワードだと思います。

安心に関係することですが、栗東市では緊急通報システムをどのように運用していますか。

事務局

高齢者世帯を対象に、少し負担をいただきながら運用しています。システムを使われないというが一番良いことだと思いますが、普及を進めていかねなければならない状況だと感じています。

委員長

緊急通報システムや災害時避難行動要支援者名簿は、該当者や家族が申し出ないと機能しません。まずは知ってもらうことが必要です。地域全体で取組やテーマがあるということを共有し、必要な時に利用できるようにしていくことが重要です。

本日の協議が終わると、計画が素案としてパブリックコメントに出ることとなります。計画案で気になること等についてご意見をいただければと思うのですが、いかがでしょうか。

副委員長

P53の重層的支援体制について、質問があります。ネットワークづくりの具体的な形についてお聞きしたいです。ネットワークをどのように具体的に立ち上げ、どのように運用していくのでしょうか。計画案では、市がどのように進めていくのかわかりませんでした。

事務局

現在進行中の内容となります。昨年度から3年間、重層的支援体制のあり方を庁内で検討し、最終年度である来年度に計画をつくる予定です。

現在、関係団体へのヒアリングや重層的支援体制の啓発を進めています。来年度に具体的な体制を考える予定です。

副委員長

現在検討中ということで、計画策定に間に合わないと思いますが、どういう風に取り組んでいくのか示したり、積極的に体制づくりを進めたりしていただきたいと思っています。

委員長

計画期間中に定まることもあって、計画の中二具体的に書けないところもあると思いますが、どこがイニシアチブをとるのかということが分かれば記載をお願いしたいです。

事務局

計画案の65Pに各課の取り組みを記載しています。

今年度は1人の包括推進員を整備しています。体制の構築については、社会福祉課がイニシアチブをとるという前提があります。しかし、社会福祉課単独では進めていけません。関係課や関係団体をどのように巻き込んでいくか検討していきます。

委員長

課題を抱える人にとって、切れ目ない支援が重要だと思いますので、重層的支援体制の整備をぜひ進めていただきたいです。

パブリックコメントに向けて、計画案の承認を頂いてもよろしいでしょうか。承認いただける方は挙手をお願いします。

(出席委員挙手)

委員長

ありがとうございます。計画案について承認いただきました。事務局、いかがでしょうか。

事務局

承認を頂きましてありがとうございます。12/26 から 1/20 までパブリックコメントを予定しております。パブリックコメントでご意見をいただき、次回委員会で計画案のご検討をいただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(2) その他

事務局

次回の委員会を2月に予定しております。日程調整のうえ、後日連絡いたします。

委員長

ありがとうございます。

計画案について、てにをはの修正等を進めていただきたいと思います。

以上で終わりたいと思います。進行を事務局にお返しします。

事務局

ありがとうございます。

最後に副委員長にあいさつをお願いします。

副委員長

ご多忙のなか出席いただき、ありがとうございました。パブリックコメントをいただいて、最後の委員会になるとのことでした。この計画は、地域福祉計画は福祉を進めていくうえで重要な計画となりますので、今後ともよろしくお願いたします。

委員長

ありがとうございました。これにて、本日の委員会を終了します。

<閉会>